



さばえ結の会
堀川 秀樹 議員



河和田川改修工事の状況について

問 福井豪雨を体験した市民の中には、20年以上たった今でも、雨が降ると心配で眠れない人がいる。一日も早い天神川までの改修を希望するが、現在の進捗具合は。

答 市長 福井豪雨以来、県に対して強く要望しており、平成16年度には鞍谷川の河川改修に着手し、平成28年度には服部川合流点および河和田川の落井町中橋までの区間の整備を完了させた。さらに、河和田町の天神川合流点までの区間の早期事業化について、引き続き県に強く要望している。今年度は、落井町中橋から血ノ川合流点



河和田川の増水

までの区間において、令和24年度までを整備期間として事業化された。上流の血ノ川合流点から河和田町の天神川合流点までの区間の事業化についても、引き続き、県に対して強く要望していく。

東部地区の企業誘致について

問 企業を誘致することで、東部地区の人口減少に歯止めをかけられるのではないかと考えるが、現在の状況は。

答 県などから工場適地の照会がある都度、候補地の一つとして紹介しているが、大半が工場等の建設が制限される農地であり、農地以外の用途で使用する場合に行う手続等に時間がかかるため、工場立地につながっていない。今後、具体的な相談があった場合は、候補地の状況を丁寧に説明し、企業誘致につながるよう努める。



さばえ結の会
福原 敏弘 議員



マイナンバーカード申請について

問 マイナンバーカードを申請したが、受け取りに来ない市民への対応は。

答 8月末時点での未交付者は1,316人である。未交付者には、最初の交付通知からおおむね6か月をめぐりに催促の通知をしており、その後も受け取りに来られない場合は、再度督促の通知を送付している。マイナンバーカードは公的な身分証明書となり、住民票や税関係の諸証明がコンビニ等で、夜間や休日でも交付が受けられる等の大きな利便性がある。また、利活用の範囲がさらに広がるのが想定されるため、利点を積極的にPRしていく。引き続き未交付者への啓発や、臨時交付窓口の開設等、交付体制を整えていく。

神通川の調査目的について

問 神通川の調査の目的と進め方は。

答 近年、神通川の被害頻度が高くなっているため、現況河川全域、延長約4キロメートルにおいて、現地の測量および状況の調査を行う。河川全域における現況流下能力の検証を行うとともに、合流先の和田川を管理する県とも協議しながら、治水上の課題を整理し、今後の治水対策等について検討していく。



神通川の越水



さばえ結の会
江端 一高 議員



本市の連携事業について

問 企業や大学、団体などを行う連携事業は、本市の人口減少対策にどのような効果を発揮するのか。

答 連携事業の参加者の中から、本市への就職や移住に結び付いた事例が数多く見られており、一定の効果があると考えている。また、若者がまちづくりに積極的に参加し、自分たちのまちは自分たちでつくるといった誇りやふるさと愛を醸成することで、将来のUターンや地元企業への就職などにつながり、人口減少抑制に効果があると考えている。

問 連携事業は、本市の魅力の一つである市民力の向上に結びつくのか。

答 市長 取組などを通して企業や大学が持つ知的、人的資源を活用することで、地域の問題解決や活性化に向けた市民のスキル向上の契機につながると考える。連携事業を積み上げていくことで、市民力の向上と活力あるまちづくりにつながると考える。

小学校のプール授業の在り方について

問 市民プールを小学生のプール授業に活用していくべきではないか。

答 教育長 市民プールは、屋外プールとして、25メートルプールと幼児用プールの機能性を高めて改修する予定となっており、完成後には、鯖江東小学校をはじめ、2、3校の水泳学習を実施したいと考えている。